

力を合わせてタスキをつなぐ



見事な走りを見せた飛松選手

2月15日から19日の5日間、「第61回県下一周市郡対抗駅伝大会」が開催され、53区間総距離五八八・六キロで熱戦が繰り広げられました。幅広い年代の選手が共に力を合わせ、郷土の誇りを胸にして競う姿に、沿道からは大きな声援が送られました。

曾於チームは昨年からの順位を上げ、7位でゴール。また、4日目の第一区では、財部町出身の飛松佑輔選手（第一工業大学）が大会史上初となる同区間での三年連続区間賞を獲得するなど、大会を大いに盛り上げました。

市内の人権を守るために



人権擁護委員となった住吉さん(右)、南脇さん(左)

2月21日、市長室で人権擁護委員の委嘱状伝達式が行われました。

今回は、財部地区の住吉勉さん（二期目）、南脇ちよ子さん（一期目）に法務大臣から委嘱状が交付されました。曾於市には、各地区3名ずつ、合計9名の人権擁護委員がいます。市内で人権侵害等による被害がおきないように各種活動を展開しています。

五位塚市長は「地域の様々な相談があると思います。経験をいかして、市内の人権を守るために尽力してください」と話しました。

地域づくりについて考える



パネリストの発表を真剣に聞く出席者

2月19日、末吉総合センターで、男女共同参画の研修会が開かれました。研修のテーマは「男女共同参画と地域づくり」。公民館長をはじめとして、市内から一二五名が集まりました。

研修の前半は、NPO法人福祉相談センターにじの上村修氏を講師に招き、南九州市で取り組んでいる「だんだん事業」について講演。後半のパネルディスカッションでは、菅牟田校区公民館と財部北校区の「よかふんし隊」の代表を交え、男女で取り組む地域づくりについて話しをしました。

曾於チームのメンバーと一緒に



曾於チームの選手と走る児童たち

2月21日に行われた月野小学校の持久走大会に、県下一周駅伝曾於チームのメンバーが参加し、児童と一緒に走りました。参加したのは、櫻木健太さんと児玉貴洋さん。曾於チームは、県下一周駅伝のPRと地域への恩返しを兼ねて、日頃から地元の小・中学校を訪問しています。

当日は、選手と一緒に走った影響もあってか、高学年の部で男女ともに新記録が生まれました。選手の二人は「小学生と走るの楽しいです」と笑顔で話しました。



園児と一緒に遊ぶダフナさん

鹿児島島の食文化をイスラエルへ

大隅町の榎原みどりさん宅に、イスラエルからの留学生ダフナ・レビさんがホームステイ（3月9日から23日）し、田舎暮らし体験をしました。

ダフナさんは早稲田大学の交換留学生です。鹿児島島に興味があり、NPO法人からいも交流を利用して、曾於市へやってきました。「日本食が好きです」というダフナさんは、「がね」などを食べ、その味をイスラエルの家族へメールで伝えたそうです。

また、榎原さんの勤務先の岩川保育園を訪れ、園児と触れあいました。



メセナ楽団定期演奏会

マリンバの美しい青色に包まれた会場

2月23日、末吉総合センターで「第18回メセナ楽団定期演奏会」が開かれました。今回の演奏会は、市民提案型地域づくり事業「プロの演奏家に学び、音楽の楽しさを伝えよう！」の一環として開催。マリンバ奏者の上別府宙さん（ひろし）をゲストに迎え、一部はクラシック曲、二部は「ドラゴンクエスト」によるコンサートセレクションの「テーマ」など、アニメ・ゲームの楽曲を中心に演奏されました。来場者は、マリンバの美しい音色に聴きいってました。



壁画を前に笑顔を見せる児童や地元住民

郷土への愛情を表現

菅牟田小学校の校舎に学校創立一二〇周年を記念する壁画が描かれ、その除幕式が3月14日に行われました。壁画には、菅牟田を象徴するホタルや水車などが描かれ、郷土への深い愛情が表現されています。デザインは、菅牟田在住の鮫島英子さん（さぬまいこ）（同校を昭和62年卒業）、大隅町のシバ巧芸が作成しました。

除幕式では、児童を代表して5年生の花牟禮海聖さん（はなむれみか）が「大きな壁画に感動しました。菅牟田の魅力が伝わってきます」と完成の喜びを語りました。



自衛隊入隊・入校者の皆さん（植樹した桜と共に）

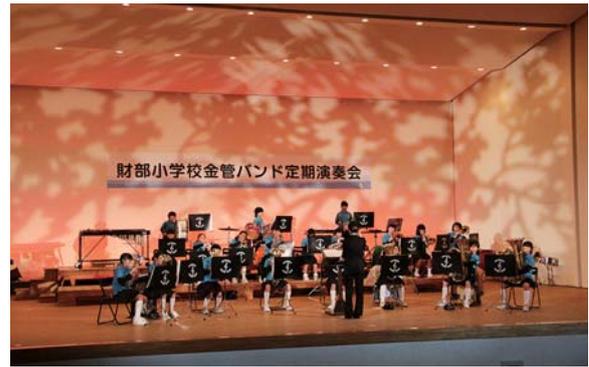
曾於市出身であることを誇りとして

3月11日、末吉総合センターで「平成25年度自衛隊入隊・入校者壮行会」が開かれました。

今年度、曾於市から入隊・入校するのは12名。壮行会では、入隊・入校者を代表して、えびの駐屯地に配属される有馬章平さん（ありまさしろうへい）が「勤務地はそれぞれ異なりますが、曾於市出身者であることを誇りに頑張っていきます」と決意を述べました。

また、会終了後には総合センターの駐車場で、桜の記念植樹が行われました。これからの活躍が期待されます。

たからべ金管バンド



金管楽器の美しい音色が響きました

3月2日、財部きらめきセンターで「財部小学校金管バンド定期演奏会」が開催されました。同校の金管バンドは、今年度から市民提案型地域づくり支援事業に取り組み、外部講師の指導を仰ぎ、演奏に磨きをかけてきました。当日は、この事業の活動と一年間の集大成として、様々な曲目を演奏すると、訪れた観客から惜しみない拍手が送られました。都城市から来た東川さんは「初めのころよりも上手になっ

農業及び商工業発展のために若い力を



新規就業者の皆さん

3月14日、市役所で新規就業者支援対策事業及び商工業新規就業者支援対策事業認定書交付式が行われました。この制度は、曾於市の農業及び商工業の新規就業者に認定後2年間に渡って、農業は毎月5万円から15万円を、商工業は毎月5万円から7万円を支援する制度です。今回は、農業5名、商工業2名が認定されました。式では、市長から認定書が手渡されました。認定者は、「自分の目標に向かって頑張ります」と力強く抱負を述べました。

地域づくりの活動が評価



市長室を訪問した中原さん（右）と國重さん（左）

末吉町の高校生クラブ「つくつくぼうし」が「おおすみの地域力表彰」を受賞しました。これは、大隅地域で様々な活動を通して地域の活性化に貢献している個人や団体に贈られるものです。同クラブは、平成8年に発足。障害がある方や介護福祉施設などを訪問し、清掃や介助を行ってきました。また、読み聞かせ活動も行い、地域へ貢献してきました。中原友美なかはらともみさんは「先輩方の活動が評価されました。私たちは、それを引き継いでいきます」と決意を語りました。

地域に根ざした演劇活動



エネルギーな演技を見せる出演者たち

3月15日、財部中央公民館で劇団まつり座の第13回定期公演「洗濯周辺三十路娘。」が開かれました。まつり座は、財部で長年にわたり活動が続いている劇団です。今回の題材は、地方都市に住む独身女性4人に起きるちよっとした事件。それぞれに一生懸命生きている登場人物の姿を、4人の出演者はコミカルかつシリアスに演じ、会場には笑いと感動があふれていました。終演後、出演者たちが来場者へ感謝を伝える姿が強く印象に残りました。